

菱野地区 防災・安心まちづくり

自分の身を、自分で守る
自分たちの地域は、自分たちで守る

菱野地区防災計画



菱野連区自治会
令和2年12月作成



THE UNIVERSITY OF CHICAGO
PRESS



菱野地区防災計画

1・対象地域

南部地域 西脇町（西脇町、幡西町、南菱野町）

羽根町・新田町（新田町、幡中町）

台六町（弁天町、台六町、南ヶ丘町、幡中町）

北部地域 菱野町・ハーモニア・福元町・瀬戸口町・幡山町

東菱野町・西米泉町・東米泉町 以上12町内

2・方針

「自分の身を、自分で守る」という「自助」と「自分たちの地域は、自分たちで守る」という「共助」が基本的なことであり、一人ひとりが防火防災について考えていくことが、災害に強いまちづくりと考えられます。それと日頃からの、地域のつながりは、各イベントなどにより、人とのふれあいを基本とした、地域コミュニケーションが、助け合いの大きな力が発揮できるのではないかと考えます。

3・地域特性

水害

風水害の避難所として、幡山公民館が指定されているが、矢田川近くに設置されていることから、矢田川の水量が多くなると水害の恐れがあり、避難所の変更も考えられる。南部地域は、矢田川を渡るためには、避難所への避難は難しいと考えられることから、一時的な避難場所として「菱野連区自治会館（弁天荘）・西光寺」の施設を使用する。北部地域の矢田川付近は、河川敷が低く氾濫する恐れがある。現在の避難場所「幡山公民館」が浸水の恐れがある時は、一時的な避難場所として「福寿荘（憩の家）・仙壽寺」の施設を使用する。

地震

菱野地域ではほぼ全体的に、耐震性の低い建物が倒壊する危険性がある。

避難所として、幡山中学校が指定されている。

特に、南部地域では、耐震性の弱い建物が多く見られる。

菱野連区自治会「弁天荘」を、一時的な避難場所としての施設を使用する。

北部地域での、液状化の可能性がある地域は、矢田川に近い地域、田畑の埋め立て地域は、液状化現象が起こりやすいと考えられる。

福寿荘「憩の家」を、一時的な避難場所としての施設を使用する。

人口および世帯数

北部地域は、市街化区域のため、人口増加傾向がある、年齢層も低いと思われる。

南部地域は、市街化調整区域のため、世帯数減少傾向ある、年齢も高齢化の傾向にあると思われる。

4・災害対応

- | | |
|--------|--------------------------------|
| ① 安否確認 | 安否確認票・防災台帳 |
| ② 避難 | 防災マップ（一時集合場所）
風水害の避難所 幡山公民館 |

地震の避難所 幡山中学校

一時的な避難場所 福寿荘（憩の家）

菱野連区自治会（弁天荘）

風水害時 「仙壽寺・西光寺」

③ 連絡 公的機関への救急・救助要請

菱野連区自治会防災対応緊急連絡網

瀬戸市災害対策本部 地域の機関への応援要請

情報伝達は、防災行政無線機を使用する

④ 避難所の開設 瀬戸市避難所開設・運営マニュアル

⑤ 備蓄資機材 幡山公民館内菱野連区自治会防災倉庫

幡山中学校内避難所用倉庫

5・防災意識の普及啓発

講習会・訓練等は、年内に数回程度テーマを決めて行なうことが望ましい

① 防災講演会 防災意識を高める

② 各町内での訓練

平常時に事前対策、訓練、活動を進める。 災害時は「誰か、何を、どれだけ、どのようにすべきか」の体制と手順を検討すること。

③ せと市民総ぐるみ防災訓練

公助・自助・共助の体制を高める

④ イベント

地域コミュニケーションを通じて、災害時に助け合いの大きな力が発揮できる地域のつながりを高める。

6・災害対策の推進

自治会・地域力まちづくり協議会が、中心として防火防災活動を地域全体で行い、地域の問題を協議・検討し、市および各地域の機関と協力して、災害対策を推進していくものとする。

地域コミュニケーションをとりながら様々な活動の中で、災害に強い安心・安全なまちづくりを推進していきたいと思えます。

7・その他

本件計画及び各資料は、実情に応じて修正し、更新をしていくものとする。

令和2年12月運用開始

資料

- 1・安否確認 住民防災台帳
災害時安否確認カード
災害情報伝達票
- 2・防災マップ 菱野地域防災防犯マップ
一時集合場所
一時的な避難場所
- 3・避難所設営 避難所運営・開設マニュアル（瀬戸市）
体育館内の避難所レイアウト
- 4・備蓄資機材の備品数名。数量
幡山公民館内菱野連区自治会防災倉庫2棟
幡山中学校内避難所倉庫1棟
- 5・菱野連区自治会防災連絡網
- 6・地震・風水害編
- 7・瀬戸市防災行政無線取り扱い
- 8・災害に備えて食品の家庭備蓄
- 9・瀬戸市消防（わが街の消防力）

資料 1

安否確認

住民防災台帳

災害時安否確認カード

災害情報伝達票

【菱野連区自治会】住民防災台帳

平成29年4月作成

町内会 _____ 組

原住所 瀬戸市 _____ 町 _____ 番地

号室 1a

氏名	性別	続柄	生年
1	男・女	世帯主	大昭年
2	男・女		大昭年
3	男・女		大昭年
4	男・女		大昭年
5	男・女		大昭年
6	男・女		大昭年
7	男・女		大昭年
8	男・女		大昭年
9	男・女		大昭年

災害時に支援の必要な方は以下の項目の該当するものにチェックをしてください

<input type="checkbox"/>	懐たきりの人がいる
<input type="checkbox"/>	車椅子の人がいる
<input type="checkbox"/>	目の不自由な人がいる
<input type="checkbox"/>	耳の不自由な人がいる
<input type="checkbox"/>	人工透析の必要な人がいる
<input type="checkbox"/>	酸素吸入の必要な人がいる
<input type="checkbox"/>	乳幼児がいる
<input type="checkbox"/>	その他 (_____)

【特別な連絡事項】

※緊急連絡先 (同居ではない人)

氏名	
1a	
携帯	
続柄	
氏名	
1a	
携帯	
続柄	

更新年月	年	月	年	月
	年	月	年	月
	年	月	年	月

※ この防災台帳は災害時：緊急時に安否確認や救助活動を行えるよう作成する物であり、その他の目的では一切使用しません。

災害時安否確認カード



災害情報伝達票

町内会 組

世帯数	世帯	組内人員	名
倒壊家屋 全壊	棟	半壊	棟 合計 棟
安否確認カード	全員無事		世帯数
	救助求む		世帯数
	標示なし		世帯数
避難行動支援者	有	無	件数
救助要請	有	無	件数

一時集合場所参集者 名

緊急避難場所（幡山中学校グラウンド）参集者 名

報告者氏名

この伝達票は、組長さんまたは代行者が、記載してください。

一時集合場所にて、町内会長へ詳細に報告してください。

避難行動支援者および救助要請があれば、町内の参集者を編成して救助に向かってください。

一時集合場所・自宅に留まることに危険を感じている人全員を率いて、徒歩で緊急避難場所（幡山中学校）へ向かってください。

資料 2

防災マップ

菱野地域防災防犯マップ

一時集合場所

一時的な避難場所

文苑文英函

五 代 新

文苑文英函湖文館製印費

函社合圖部一

函部發版發行部一

菱野地域防災犯マップ

- 風水害時避難場所
- 地震時避難場所
- 一時集合場所

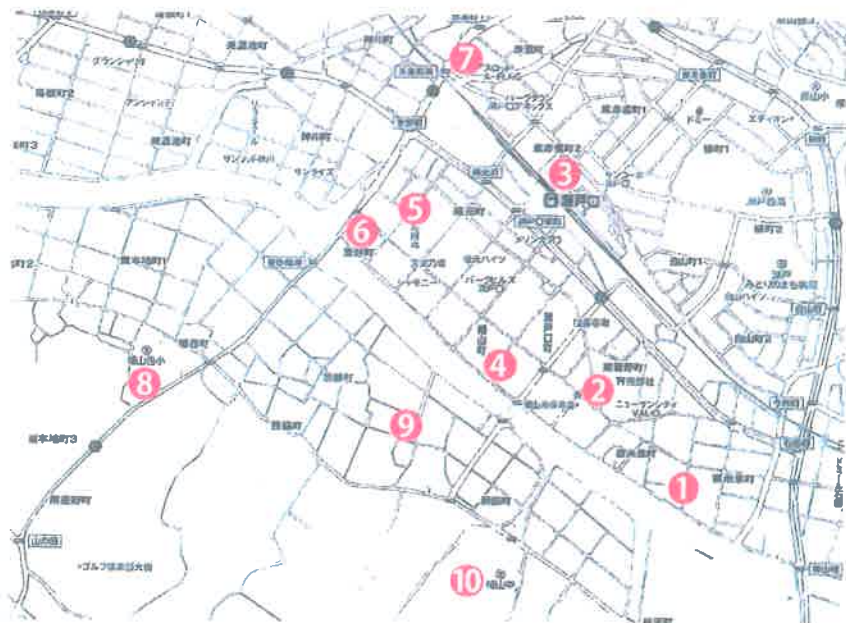
● 幡山公民館
● 幡山中学校



- 一時集合場所
 米泉 米泉ちびっこ広場
 東菱野町 東島遊園地
 瀬戸口 瀬戸口駅前広場
 幡山 幡山公民館
 福本 福元ちびっこ広場
 菱野 巖脇駐車場
 ハーモニア エーフラック駐車場
 西脇 幡山西小学校
 羽根 五反田遊園地
 新田 五反田遊園地
 台六 幡山中学校

瀬戸市菱野連区 一時集合場所マップ

菱野連区自治会
平成30年8月現在情報



【一時（いっとき）集合場所とは】
地震災害が発生した場合に、「組」「町内」単位で一時的に集まる場所です。
この一時（いっとき）集合場所は、隣近所での安否確認や応急活動の拠点となる場所です。
また、災害の状況を見極め、ここから市が指定する避難場所へ集団で避難します。

菱野連区一時集合場所（赤字は避難場所）地震時は⑧と⑩風水害時は④

東米泉	① 米泉ちびっこ広場	菱野	⑥ 農協駐車場
西米泉		ハーモニア	⑦ エーフラッグ駐車場
東菱野	② 東島遊園地	西脇	⑧ 幡山西小学校
瀬戸口	③ 瀬戸口駅前広場	羽根	⑨ 五反田遊園地
幡山	④ 幡山公民館	新田	
福元	⑤ 福元ちびっこ広場	台六	⑩ 幡山中学校

大規模災害に備えるためには、地域での防災への取り組みが重要です

災害時には地域の助け合いが大きな力になります。阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋などの下敷きになった人のうち、警察・消防・自衛隊に救助された人は23%にとどまり、77%の人は近隣住民に助けられたという推計があります。「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」をモットーに日頃から災害に備えることが大切です。

避難する時の注意点

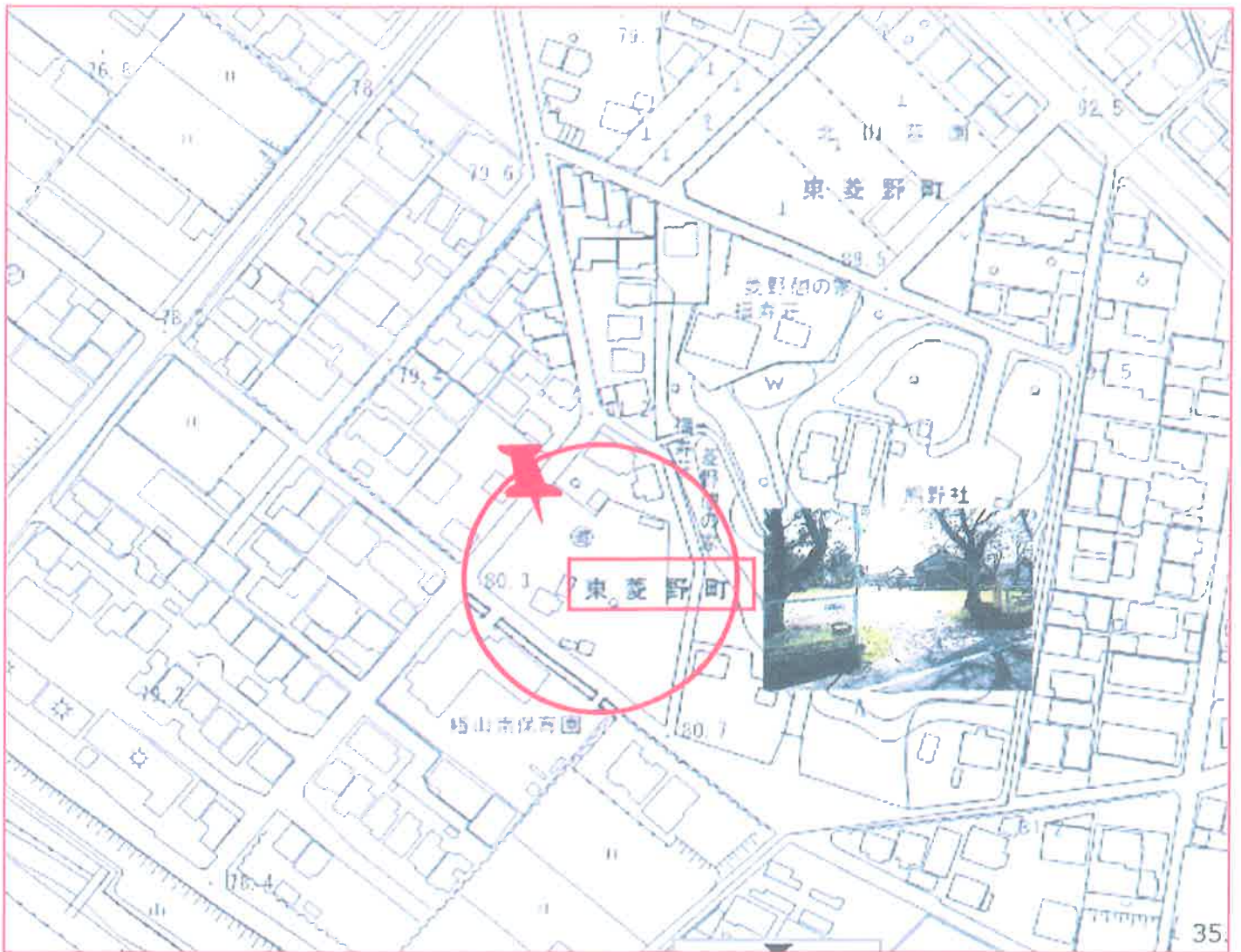
- ※落下物やブロック塀、自動販売機の倒壊などに注意する
- ※車は使わず、必ず徒歩で避難する
- ※家には避難先や安否情報を記した伝言メモを残す
- ※避難する前にもう一度火元を確認、ブレーカーも落とす
- ※ヘルメットや防災頭巾で頭部を保護し、長袖・長ズボンなど安全な服を着用する
- ※高齢者や子供には声をかけ、しっかり手を握る
- ※できるだけ集団で指定された避難場所へ移動する
- ※災害時要援護者（一人暮らしや寝たきりの高齢者など）にも支援をする

東米泉、西米泉町内会の一時的集場所

【米泉ちびっこ広場】



東菱野町の一時集合場所【東島遊園地】



瀬戸口町内会の一時的集合場所

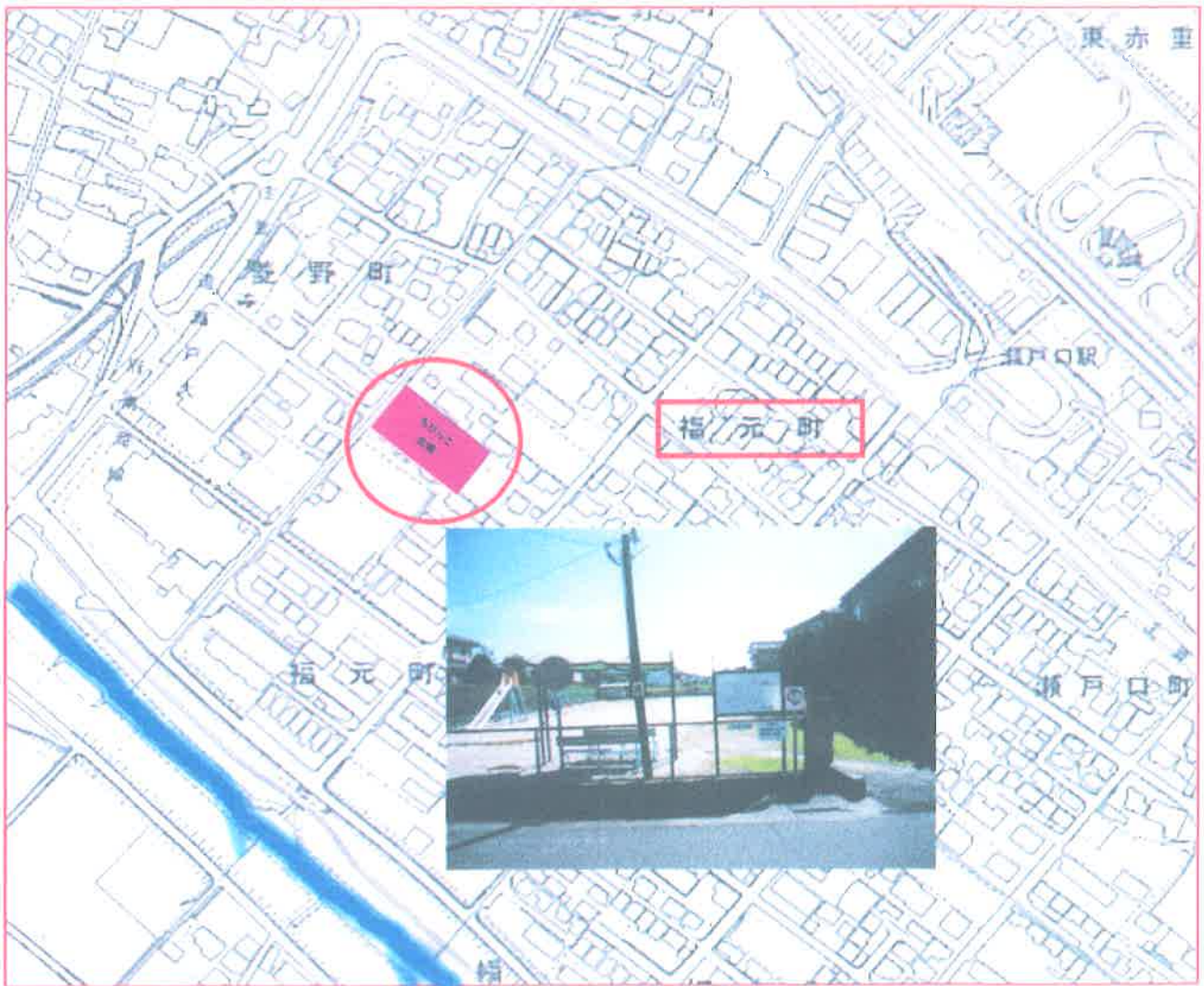
【愛環瀬戸口駅南口広場】



幡山町内会の一時集合場所【幡山公民館】



福元町の一時的集合場所【ちびっこ広場】



菱野町内会とハーモニアの一時集合場所

【JA農協駐車場】

【パチンコ・エーフラッグ駐車場】



西脇町内会の一時集合場所【幡西小学校】
(西脇町、幡西町、南菱野町)



新田町と羽根町の一部【五反田遊園地】 (新田町、羽根町、幡中町、西脇町の一部)



台六町内会の一時集合場所【幡山中学校】
(台六町、弁天町、幡中町、南ヶ丘町)



一時的な避難場所（仙寿寺・西光寺）

風水害時に障害者、高齢者や地域住民で遠くの避難所へ避難できない住民を「一時的な避難場所」として受け入れることができるよう、協定締結寺院の施設を使用するもの。

災害時には、市が協定締結寺院の施設を使用の許可をもらい次第、瀬戸市安全安心情報メールや瀬戸市ホームページでお知らせいたします。



一時的な避難場所（福寿荘・弁天荘）

風水害時に障害者、高齢者や地域住民で遠くの避難所へ避難できない住民を「一時的な避難場所」として受け入れることができるよう、施設を使用するもの。

東菱野町「憩の家 福寿荘」

幡中町 「弁天荘」



資料3 避難所設営

避難所設営・運営マニュアル

本編（令和元年6月 瀬戸市）

新型コロナウイルス感染症対策編

体育館内の避難所レイアウト

体育館の避難所レイアウト

2100 7000 40400 7000 2700

6000 2700

6000 2700

6000 2700

2700 2400

障害者

スペース

高齢者スペース

家族スペース

授乳スペース
仮設救護所

物資保管場所

パーティション

濃厚接触者等

スペース

出入口

出口

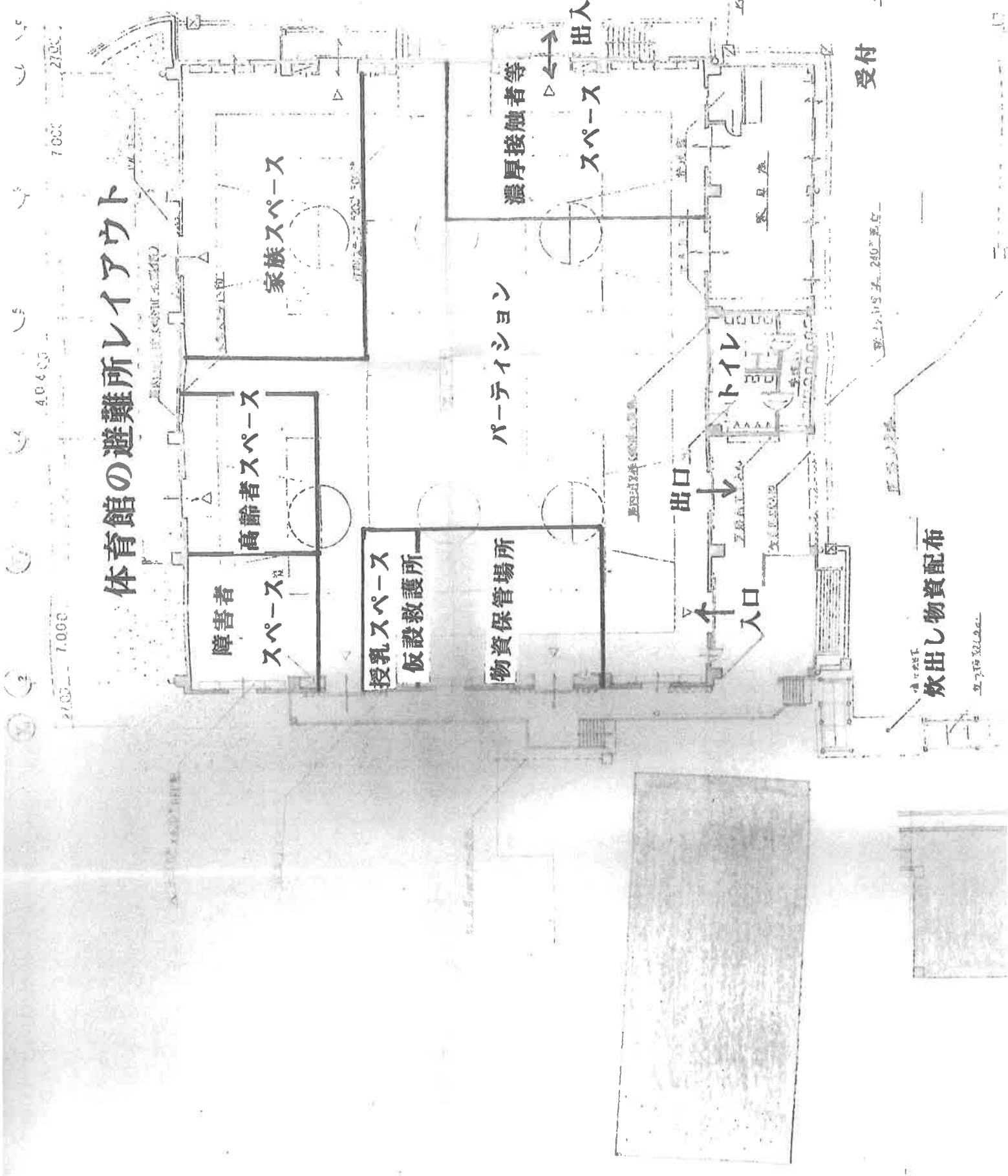
トイレ

入口

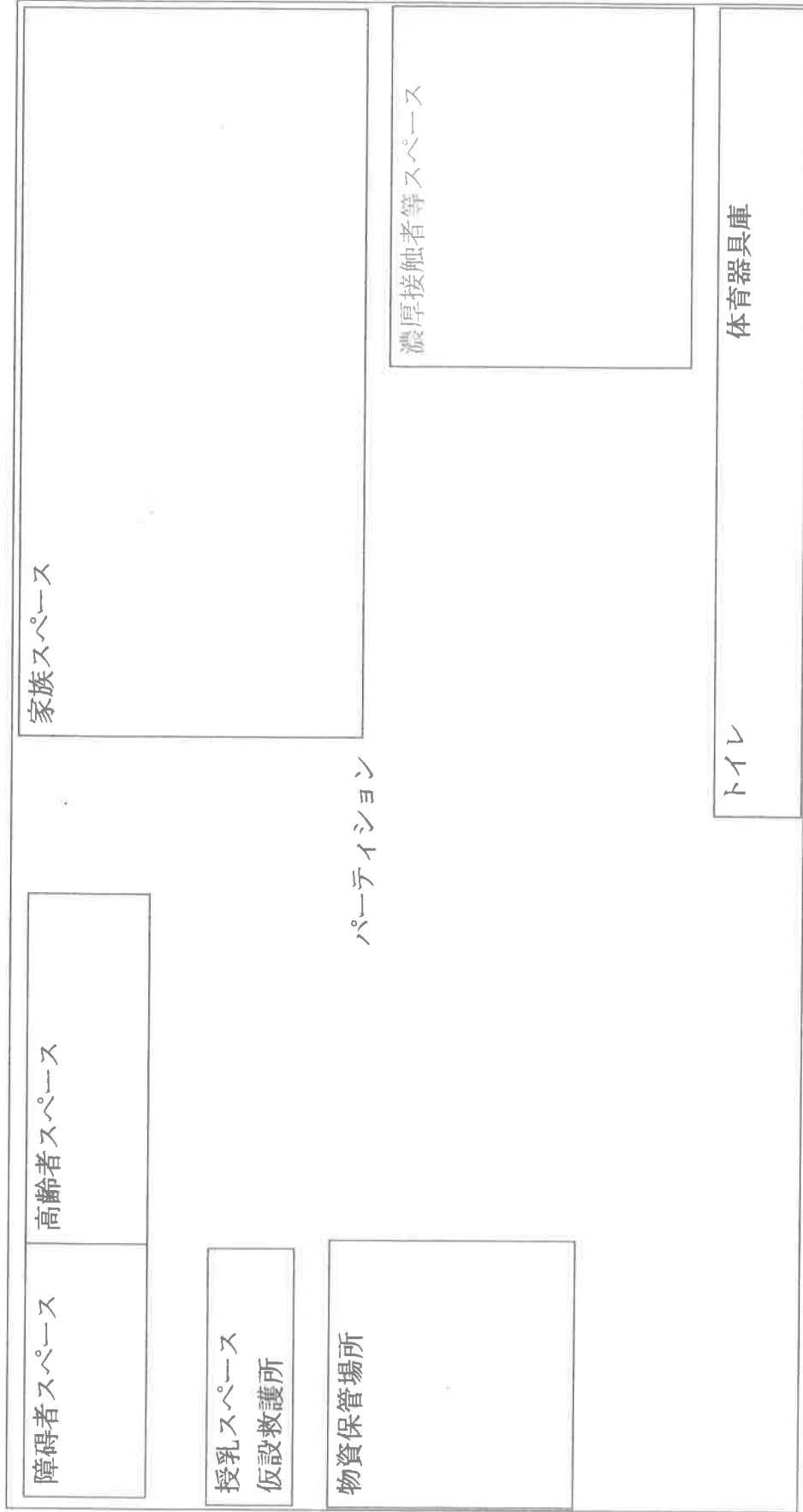
受付

炊出し物資配布

2700 2400



体育館の避難所レイアウト



炊き出し 物資配布

受付の窓口

資料4 防災倉庫の備品数名・数量

幡山公民館内菱野連区自治会防災倉庫2棟

防災倉庫の鍵の所持

「自治会長・地域力まちづくり会長」

幡山中学校内避難所倉庫1棟

体育館・防災倉庫の鍵の所持

「中学校・市役所・自治会長」

備蓄資機材

瀬戸市防災倉庫（幡山連合用）

レンジャーロープ	5 ケース
シャベル	20 個
金コテ	20 個
まかないくん	1 セット
まかないくんガスバーナー	1 セット
毛布	20 枚
土のう袋	1 袋
バケツ	20 個
給水（折りたたみ式給水容器）	2 セット
投光器	

備蓄資機材

菱野連区自治会防災倉庫

災害救助工具セット（自治会館1セット） 2セット

発電機 ガソリン用 1機

発電機 ガス（自治会館1機） 2機

ガソリン携行缶20リットル 1個

プロパンガス 1個

コードリール 1台

テント 1式

油圧ジャッキ 1台

エンジンチェンソー 1機

折り畳み式リヤカー 1台



幡山中避難所用倉庫 配備資機材リスト

平成31年2月21日

品名	数量	備考
アルファ米（五目ご飯・5年保存）：2021.6 期限	1,100 食	H27 年度配布
アルファ米（白米・5年保存）：2021.5 期限	400 食	H27 年度配布
飲料水 500ml（10年保存）：2026.1 期限	1,872 本	H27 年度配布
飲料水 500ml（10年保存）：2023.7 期限	696 本	H25 年度配布
間仕切り（ダンボール 縦 2m横 2m高さ 0.9m）	6 組	H21 年度配布
組立トイレ（ドントコイ MH 型）	4 台	
トイレ用パーソナルテント	3 基	
発電機（ GE-900P ）	3 台	
投光器（三脚付）	8 個・8 脚	
毛布	200 枚	H29 年度配布
間仕切り（ひなんルーム）	4 張	
大型間仕切り（プライベートルーム）	1 張	

資料 5 菱野連区自治会防災連絡網

資料6 地震・風水害編

名古屋消防局（名古屋の防火&防災）イラスト等を
参考資料として使用している。

地震編

地震の発生を防ぐことはできません。しかし、地震に伴う火災・津波・土砂崩れ・あるいは社会生活の混乱に伴う被害は、地震に対する認識を確かなものとします。

地震による強い揺れが始まる数秒から数十秒前に、テレビ・ラジオなどで緊急地震速報をお知らせします。この速報に気付いたら頭部を保護し、丈夫な机の下に隠れるなど、身の安全の確保に努める

家族で防災について話し合う、地震に関する基礎知識・地震に備える場所の確認・備蓄と非常持出品・家及びその周辺の危険箇所のチェック・家族の連絡方法・地震注意情報、必要以上に地震を恐れることなく、いざというときに備えた対策を講じておくことが大切です。

避難先を分散して「3密」を避けよう 



菱野連区震災時避難計画

家の内外で立ってられないほど（震度5弱以上）の大きな地震があったとき、まず自分の命を守る行動をとってください。揺れが収まったのちに、火の始末、出口の確保をし、家族の安否を確認する。

大丈夫であれば、「災害安否確認カード」を外から確認できる場所（玄関等）表示してください。そして非常持出袋等を持参して一時集合場所に集まってください。（被害の有無に関係なく、家族のうち一人だけでも集合場所に出向いてください。）

一時集合場所では、町内会長、組長、自主防災リーダーは、各町内の災害安否確認カードの確認と、地震の被害状況を調査し、救助が必要な人がいないか確認します。もし組で火災発生や救助が必要な人がいる場合は、組内で組織を編成し消火救助活動に当たってください。なお、119番通報もしてください。

一時集合場所では、町内会長またはその代行者が町内会全組の安否、被害状況の報告を受け、その結果を菱野連区自治会へ報告してください。自宅・一時集合場所に留まることに危険を感じたときは、緊急避難場所（幡山中学校）へ徒歩で向かってください。

家の中で地震があったら まずは自分の身を守る



揺れが収まったら

家の中にいる家族の安否を確認する

災害安否確認カードを外から見ると頃（玄関等）に表示すること



非常持出袋等を持参して一時集合場所に集まってください。（被害の有無に関係なく、家族のうち一人だけでも集合場所に出向いてください。）

町内全組の安否と被害状況を集める。

消火救助活動があれば人的応援手配

町内に留まることが危険であれば、町内の人と一緒に緊急避難場所

（幡山中学校）へ徒歩で向かう。

【17-0】 菱野連区 地震災害

- 矢田川沿いに液状化の可能性が高い地域が存在する。
- 連区のほぼ全域にて、近隣に地震避難場所が存在する。

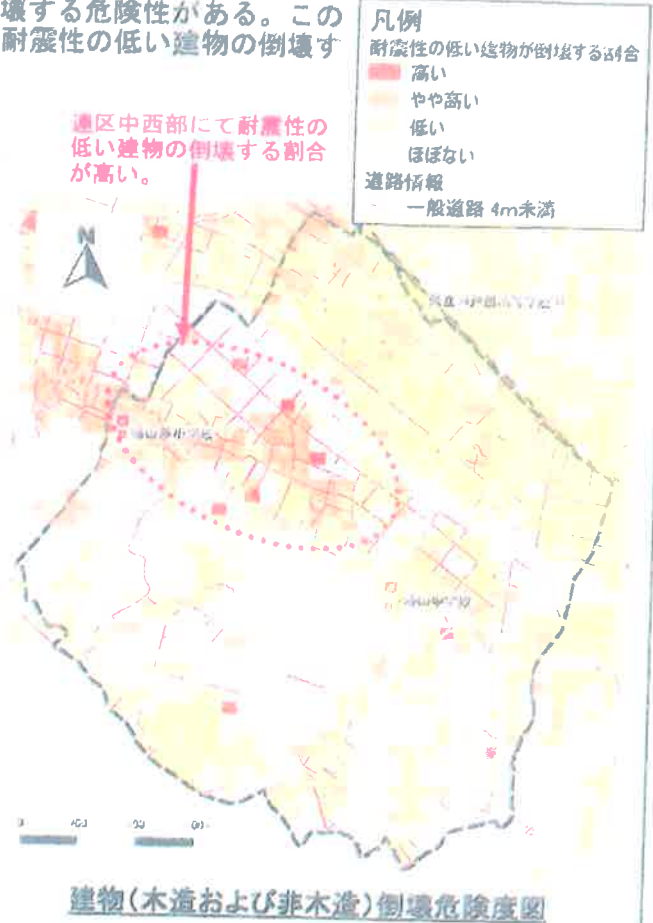
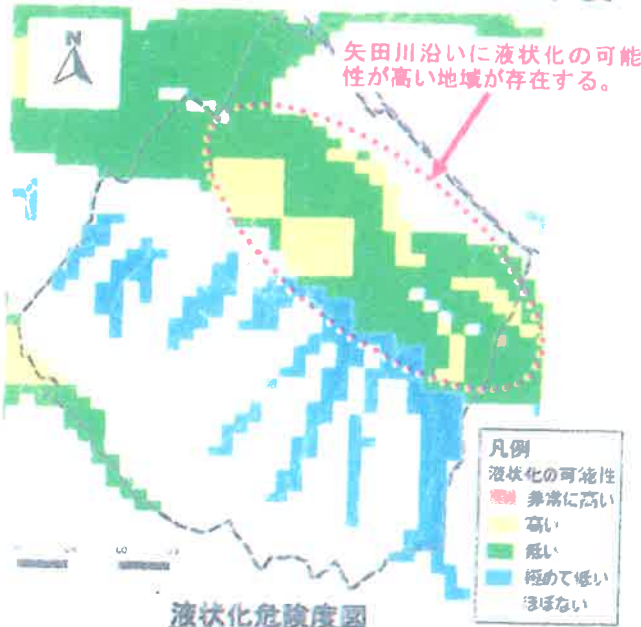
【建物被害および液状化】

(1) 建物被害について

菱野連区ではほぼ全域にて、耐震性の低い建物が倒壊する危険性がある。このうち、連区中西部（幡西町、西脇町、羽根町付近）で耐震性の低い建物の倒壊する割合がやや高い傾向がみられる。

(2) 液状化について

液状化の可能性のある地域は、矢田川とその支流で形成された沖積地形（谷底平野、扇状地）に分布しており、連区の広範囲を占める。矢田川沿い（西脇町、羽根町、新田町、弁天町、瀬戸口町、東菱野町、東米泉町）には、液状化の可能性が大きい地域が存在する。



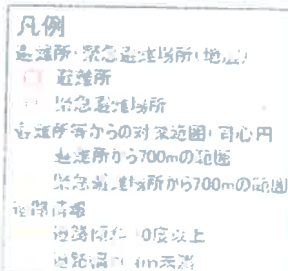
【広域地震避難場所および地震避難場所】

菱野連区では、地震時の避難所および緊急避難場所として幡山西小学校と幡山中学校の2ヶ所が指定されている。近隣連区の避難所も含めると、居住地域のほぼ全域にて700m以内に地震時の避難所もしくは緊急避難場所が存在する。

地震時の避難所・緊急避難場所一覧

緊急避難場所	避難所	収容定員(目安)		
		長期	初期	直後
幡山西小学校(運動場)	幡山西小学校	95人	180人	305人
幡山中学校(運動場)	幡山中学校	275人	550人	890人

※地域防災計画より



地震時の行動ポイント

<家の中>

まずわが身の安全

倒れやすい家具や本棚から離れ、丈夫な机などの下に隠れるか、ふとんやクッションなどで頭を守る。安定の悪い机などの場合は、しっかり足をおさえながら身を守る。



火の始末は慌てずに

ガスコンロやストーブなどは、できたら火を消す。
※大きな地震の場合は、やけどなどに気をつけ、揺れがおさまってから消す。



火がでたらすぐに初期消火

「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求める。消火器の備えや消火の訓練を怠らずに。



戸を開け、まず出口の確保

マンションなどは出口が1つですので、火災に備え避難路を確保する。



あわてて外にとび出さな

どんな大地震でも、激しい揺れは最初の1分程度。あわてて外に飛び出すと、瓦やガラスなどの落下によりかえって危険!



正しい情報収集を

携帯ラジオを備えておき、デマ情報に惑わされず、正しい情報で的確な行動を。

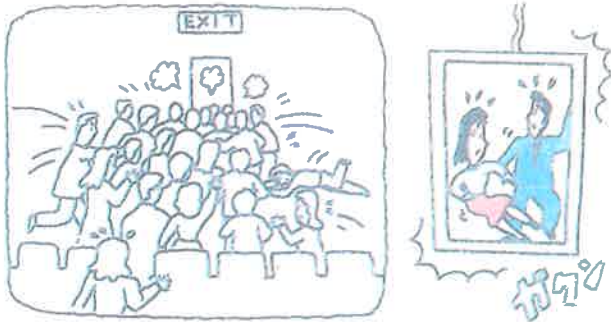


地震時の行動ポイント

<外出中>

デパートやスーパーにいたら

1. 店員の指示に従って行動する。
2. エレベーターは使わない。
3. 階段や出口に殺到しない。



街にいたら

1. 窓ガラスや看板などの落下物に注意し、バッグなどで頭を保護し安全な場所に避難する。
2. ブロック塀や自動販売機、電柱やたれさがった電線には近づかない。



車を運転していたら

1. 急ブレーキを避け、道路の左側に車を止める。
2. カーラジオで情報を聞き、規制に従って行動する。
3. 避難するときは、エンジンを止めてキーはつけたままで（ドアロックもしない）。



地下街にいたら

1. 地下街は地震に比較的強いので落ち着いて行動する。
2. 係員の指示に従って行動する。
3. 階段や出口に殺到しない。



海岸や河口付近にいたら

1. 地震を感じたら津波に備え、すぐに高台などに避難する。
2. 正しい情報をラジオ・広報車などを通じて入手する。
3. 津波は繰り返し襲ってきます。津波警報や、注意報が解除されるまで安全なところで様子をみる。



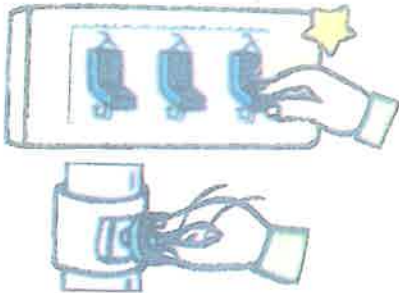
電車や地下鉄、バスに乗っていたら

1. つり皮や手すりなどにしっかりつかまる。
2. 荷物だなからの落下物に注意する。
3. あわてて降りたりせず、乗務員等の指示に従って行動する。



避難時のポイント

- ①避難する前に火の元確認
(ガスは元栓を締めて、電気はブレーカーも切る。)



- ②家に避難先や安否情報を
書いたメモを残す。



- ③動きやすい服装で非常持出品(食料などは3日分)を携行して避難する。
(運動靴を履き、ヘルメット、防災ずきんをかぶる。)



- ④避難は徒歩で。



- ⑤隣近所に声をかけみんなで避難する。
(普段から確認している高齢者などに配慮しながら避難する。)



- ⑥避難ルートは狭い道、塀やガケ、川のそば
をなるべく避ける。



- ⑦避難場所に避難する。



※避難場所での避難生活は原則、
屋外での生活となります。

風水害編

風水害は、梅雨時期と台風シーズンにより降水量が集中し多くなります。最近では気象観測などの進歩により予知が可能になっています。それだけ準備もしやすいことになり、情報をしっかり聞き事前の対策を万全にしておくことがひつようです。

台風は気象観測の進歩で予知が可能となっているとはいえ、台風の威力は計り知れないものがあります。大丈夫だと油断せず、タイムリーな気象の情報を得て、的確な行動をすることが、自分のもとより家族・地域を守ることに繋がります。

河川や下水道の整備には多大な事業費と事業期間が必要になるため、整備水準にも限界があります。いざというときの避難行動について家族であらかじめ話しあっておくことなど、日ごろから水害に備えておくため、浸水が予想される範囲や深さなど、避難所などの情報を記載した「ハザードマップ」を参考にしましょう。

新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえた防災に関する協定締結について

第1 ホテル関係

1 協定締結日

令和2年6月23日(火)

2 協定締結先(3施設)

新瀬戸ステーションホテル(東横山町53番地)、瀬戸パークホテル(深川町11番地)、
ビジネスホテル九番館(北脇町28番地)

3 締結内容

瀬戸市の要請に基づき、各施設の業務に支障が生じない範囲内で、避難所にいる要配慮者(障害者、高齢者、妊婦等)を優先してホテルへ移動し対応するもの。

避難者が直接ホテルへ避難する制度ではありません。

第2 学校関係

1 協定締結日

令和2年7月22日(水)

2 協定締結先

名古屋学院大学瀬戸キャンパス(瀬戸市上品野町1350番地)

3 締結内容

瀬戸市の要請に基づき、名古屋学院大学の業務に支障が生じない範囲内で、「一時的な避難場所」として同大学瀬戸キャンパス内の施設等を使用できるようにするもの。

なお、この「一時的な避難場所」については、瀬戸市が台風接近時に、名古屋学院大学へ依頼し、使用できる施設をお借りし、大規模災害時などで多くの避難市民を受け入れる場合は、体育館を避難場所として依頼するもの。

災害時には、施設使用の許可を頂き次第、瀬戸市安全安心情報メールや市HPでお知らせします。

第3 寺院関係

1 協定締結日

令和2年8月20日(木)

2 協定締結先(14寺院)

覚城寺(追分町)、弘誓寺(東吉田町)、慶昌院(城屋敷町)、興龍寺(仲郷町)、金剛院(東押戸町)、西光寺(西脇町)、泉秋寺(宮里町)、仙壽寺(東菱野町)、全宝寺(品野町)、道泉寺(安戸町)、法雲寺(深川町)、宝生寺(駒前町)、宝泉寺(寺本町)、万徳寺(塩草町)

3 締結内容

瀬戸市の要請に基づき、市内の協定締結寺院に支障が生じない範囲内で、風水害時に障害者、高齢者や地域住民で遠くの避難所へ避難できない住民を「一時的な避難場所」として受け入れることができるよう、協定締結寺院の施設を使用するもの。

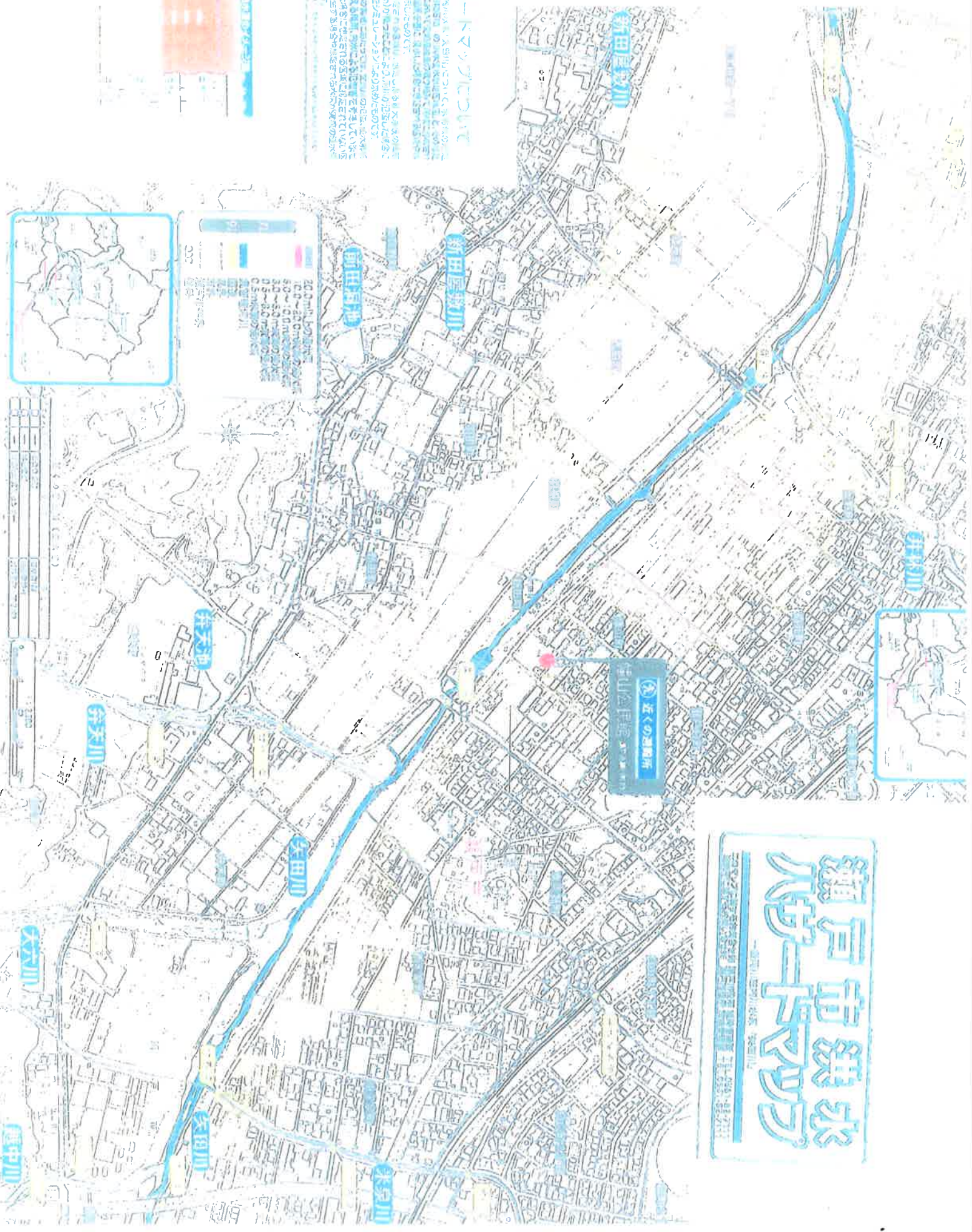
災害時には、協定締結寺院の施設使用の許可を頂き次第、瀬戸市安全安心情報メールや市HPでお知らせします。

瀬戸市洪水ハザードマップ

このハザードマップは、瀬戸市に発生する可能性のある洪水の被害状況を予測し、住民の避難行動の目安とするために作成されたものです。このハザードマップは、過去の洪水被害の調査結果に基づき、過去の被害状況と類似した被害が予測される地域を特定しています。このハザードマップは、洪水発生時の被害状況を予測するための目安として利用してください。このハザードマップは、洪水発生時の被害状況を予測するための目安として利用してください。

●洪水ハザードマップについて

このハザードマップは、過去の洪水被害の調査結果に基づき、過去の被害状況と類似した被害が予測される地域を特定しています。このハザードマップは、洪水発生時の被害状況を予測するための目安として利用してください。このハザードマップは、洪水発生時の被害状況を予測するための目安として利用してください。



浸水想定区域	浸水想定区域外	河川	道路	鉄道	境界線
1	2	3	4	5	6



【17-B】菱野連区 水害および土砂災害

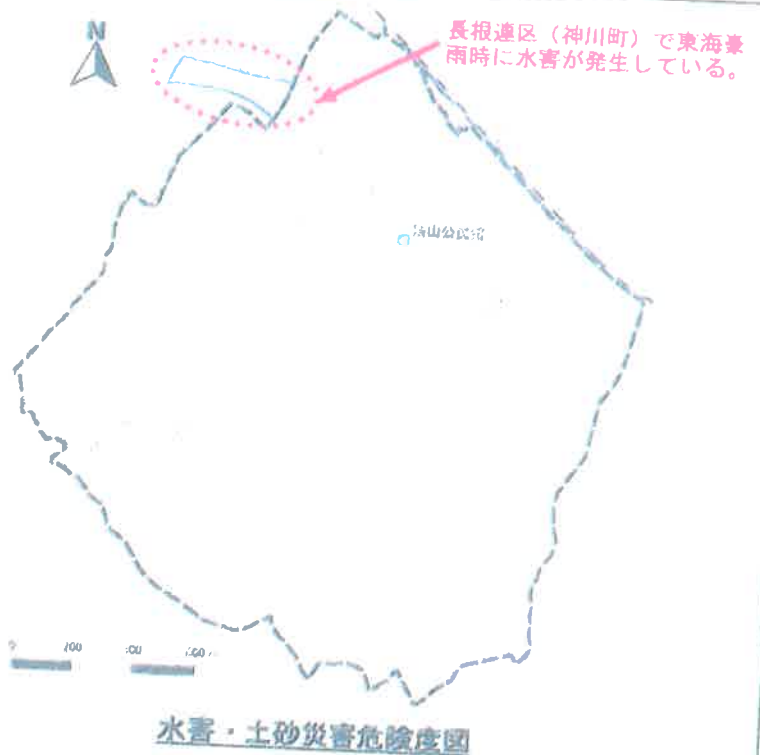
- 浸水想定区域および土砂災害警戒区域は設定されていない。
- 連区南部に風水害時の避難所までの距離が離れている地域が存在する。

【水害および土砂災害箇所】

菱野連区では、浸水想定区域は設定されておらず、近年大規模な水害は発生していない。しかし、隣接する長根連区（神川町）では、平成12年の東海豪雨で浸水した箇所があるため、矢田川沿いの沖積地形（谷底平野）では注意が必要である。

また、土砂災害特別警戒区域および土砂災害警戒区域に指定されている箇所はないが、急傾斜地崩壊危険箇所が13箇所指定されている。

- 凡例**
- 風水害避難所
 - 土砂災害情報
 - 急傾斜地の崩壊（特別警戒区域）
 - 土石流（特別警戒区域）
 - 急傾斜地の崩壊（警戒区域）
 - 土石流（警戒区域）
 - 土石流危険渓流
 - 土石流危険渓流による危険区域
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 地すべり危険箇所
 - 既往水害（東海豪雨）



水害・土砂災害危険度図

【風水害時の避難所および緊急避難場所】

菱野連区では幡山公民館が風水害時の避難所・緊急避難場所として指定されている。連区南部（南菱野町、南ヶ丘町、台六町など）において、避難所までの距離が700m以上離れている。これら地域では、風水害時の避難所が付近に存在しないことを地域住民に周知するとともに、早めの避難を促すなど、避難体制を整える必要がある。

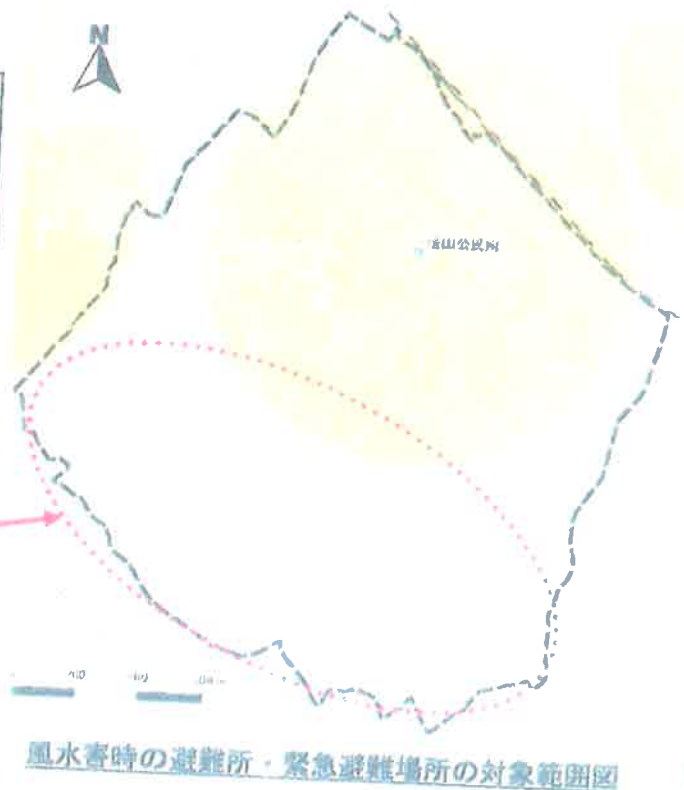
風水害時の避難所・緊急避難場所一覧

緊急避難場所・避難所	収容定員（目安）		
	長期	初期	直後
幡山公民館	40人	80人	130人
本地会館【本地連区】	40人	65人	110人
八幡公民館【菱野団地】	40人	80人	130人

※地域防災計画より

連区南部には、避難所まで700m以上離れている地域が存在する。

- 凡例**
- 避難所・緊急避難場所（風水害）
 - 緊急避難場所兼避難所
 - 避難所等からの対象範囲（同心円）
 - 避難所から700mの範囲



風水害時の避難所・緊急避難場所の対象範囲図

おうち避難訓練（風水害）

●安全に避難する

1・ハザードマップをチェック

2・家の危険度をチェック

「すぐそばに山がある、河水が近い

低い土地に住んでいる方は要注意！」

3・気象庁などの天気予報を気にする

「前線、雨雲、台風の動き

線状降水帯

記録的短時間大雨情報など」

4・避難所の目途を付けておく

「自宅？実家？友人の家？避難所？車の中

マスク、消毒液、体温計、スリッパ」

5・避難のタイミングを逃さない

●備蓄品

携帯トイレ

ラジオ

懐中電灯

携帯バッテリー

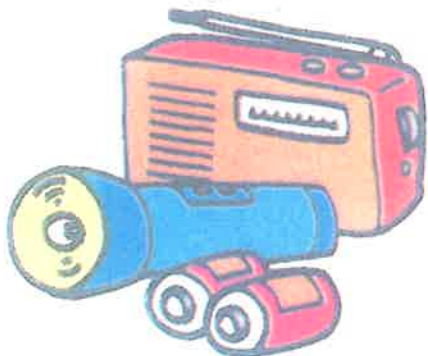
カセットコンロ

水（1日3ℓ）

長期保存できる食材

事前の風水害対策

1 停電に備えて懐中電灯・携帯ラジオ・新しい電池を準備してください。



2 避難に備えて貴重品などの非常持出品の準備をしてください。



3 断水のおそれもあるので飲料水の確保も忘れずに。



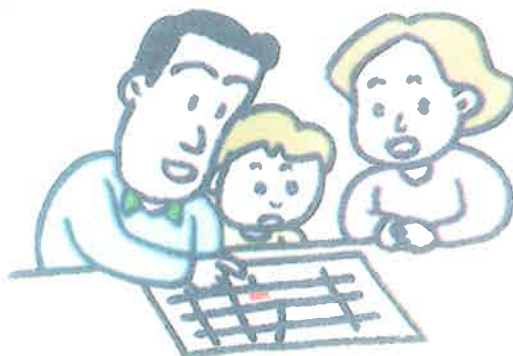
4 浸水に備えて家財道具・食料品・衣服など生活用品を安全な場所に移動してください。



5 外出からは早く帰宅して、非常時に備えてください。



6 避難場所を事前に確認してください。



7 家の周りの吹き飛ばされやすい物、流されやすい物は事前に排除してください。



事前の風水害対策

アンテナ等

TVのアンテナ、看板などはしっかり針金等で固定しておきましょう。

車庫・小屋等の屋根・側壁

風圧によるトタン板の飛散、大雨による雨漏り防止のため、止め金具等をチェックしましょう。

建物の応急修理

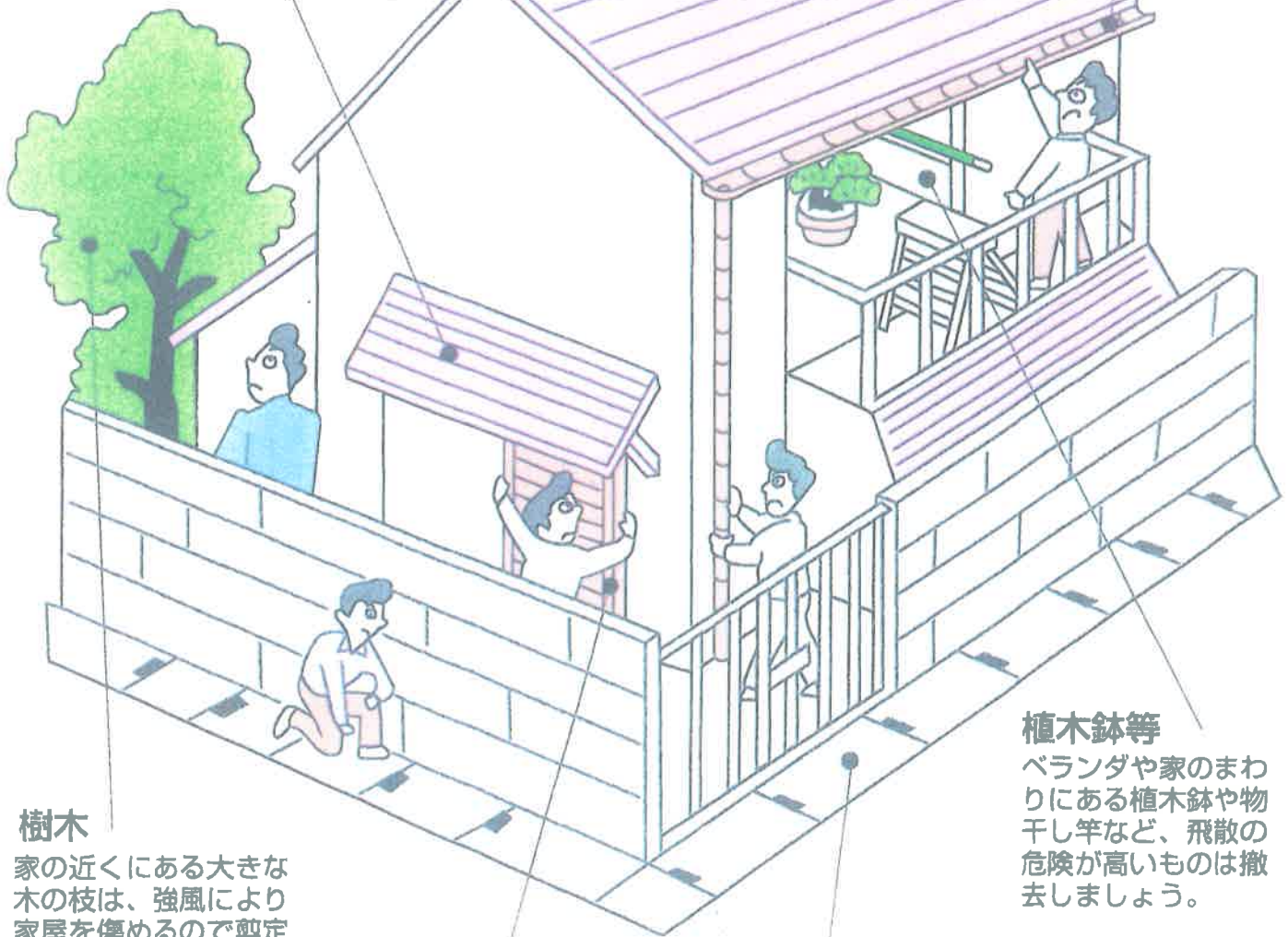
屋根のひび、割れ、はがれや外壁、ブロック塀の破損の応急修理をしましょう。

雨どい

落葉、土砂のつまりなどを取り除き、排水をスムーズにしておきましょう。

ひさし

特に風圧がかかるため、針金やロープなどでしっかりと止めておきましょう。



樹木

家の近くにある大きな木の枝は、強風により家屋を傷めるので剪定しておきましょう。

植木鉢等

ベランダや家のまわりにある植木鉢や物干し竿など、飛散の危険が高いものは撤去しましょう。

雨戸、シャッター

破損、腐り、がたつき、ゆるみの応急修理をしましょう。

側溝

家のまわりの雨水ますや側溝のゴミやドロ、落葉などを取り除き、水はけをよくしておきましょう。

避難のこころえ

- 1 長靴は中に水が入って歩きにくくなります。もちろん裸足も禁物。ひもつき運動靴にする。



- 2 先導する人は、くぼみや溝を確かめるため長い棒を杖にしながら歩く。



- 3 歩ける深さは男性で70cm、女性で50cm、子供は30cmが目安。水が腰の深さになってしまったら、無理せず高い所で救助をまつ。



- 4 子供やお年寄りには浮袋を持たせる。



- 5 病人や歩行困難な人は背負って避難する。



- 6 非常持出品等の持ち物は背負って。なるべく手は自由に。



- 7 避難するときは区役所・消防機関・警察機関の指示に従い、デマに惑わされずラジオ・テレビ・広報車で情報を収集する。



- 8 自動車はもちろん厳禁、自転車も使用しない。



資料 7 瀬戸市防災行政無線取り扱い

資料 8 災害に備えて食品の家庭備蓄

日本防火防災協会の地域防災に関する
総合情報誌 No. 35 の資料によるもの

